

広報資料

1 【広報】

- ・海上保安庁「初」海上保安官リクルートセンター開設
(総務部・人事課)
- ・海上保安大学校・海上保安学校学生採用試験の募集が開始されます
(総務部・人事課)

2 【お知らせ】

- ・「あなたの資格、海上保安庁で役立ててみませんか！」
～令和2年度（第1回）海上保安庁船艇職員・無線従事者・航空機職員採用試験の実施について～
(総務部・人事課)
- ・青い羽根募金について（警備救難部・救難課）
- ・広報映像等の迅速な提供について
～オンラインストレージのご案内～ (総務部・総務課)

3 【ミニ講座】

海上保安官になるためには (総務部・人事課)

4 【学生募集チームメンバー指名式】 (総務部・人事課)

問い合わせ先

総務部人事課

人事課長 吉田 隆宏

電話 052-661-1611 (内線 2130)

令和2年6月26日

海上保安庁初

第四管区海上保安官リクルートセンター開設

新型コロナ対策により、「新しい生活様式」となるこれからは、海上保安官の採用に関して、高等学校や大学などへ直接訪問させていただく機会が減少するため、電話やメールなどによる問い合わせが増加するものと想定されます。採用に関して、皆様からのお問い合わせ・ご要望に適切に対応し、コロナ禍において制限されている募集活動を補完する目的で、リクルートセンターを開設いたします。

開設日時：令和2年6月26日（金）15時

リクルートセンターでは専用ダイヤルにおいて対応を行うほか、以下のとおり海上保安官による個別説明会を開催します。

少人数個別説明会 ※要予約、5名以下

平日 09:30 13:30 16:30

土日休日 09:30 (期間限定：6/27～9/7)

※第四管区海上保安本部 HP 企画「おうちで海保」の WEB と連携して活動します。

連絡・問い合わせ先

電話：052-652-0826 (平日 09:05 から 17:50 まで)

メール：jcg4soumu1-5u5s@mlit.go.jp (メールは 24 時間受付、回答は翌執務日以降)

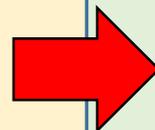


海上保安庁初！

海上保安官リクルートセンター開設

今までは

- ・ 随時受付
電話、メールでの問い合わせ
- ・ 業務説明、学生募集説明
各種イベント、多人数向けの業務説明会
に併せて不定期に開催



新しい生活様式となるこれからは

- 専用窓口（直通ダイヤル設置）にて受付
直接の相談・問い合わせの対応が可能
- 少人数個別説明会（毎日開催）
※要予約、5名以下
平日 09:30 13:30 16:30
土日休日 09:30（期間限定：6/27～9/7）
- ・ 第四管区海上保安本部HP企画「おうちで海保」
webで活動
- ・ 各種イベントへの参加
- ・ 多人数向け業務説明会開催（当面の間休止）

海上保安官リクルートセンター

- ・ 職員募集チームによる対応窓口を設置
（海保初！）
- ・ 海上保安官による電話対応、個別説明
- ・ 海上保安官による少人数説明会開催
（友人、家族の同伴も歓迎！）
- ・ 遠方の希望者に対しては、最寄りの海上保安部署を紹介
- ・ 現場経験豊富な者から入庁後間もない者まで多様な人材
でメンバー構成

相談、連絡先

海上保安官に興味のある人、もっと知りたい人は
海上保安官リクルートセンター

- ・ **電話**：052-652-0826（平日09:05から17:50まで）
- ・ **メール**：jcg4soumu1-5u5s@milt.go.jp

- 3 - （24時間受付、回答は翌執務日以降）

【問い合わせ先】
 総務部人事課
 人事課長 吉田 隆宏
 電話 052-661-1611(内線 2130)



海上保安大学校・学校学生募集！

海上保安庁では、以下のとおり、令和3年4月入校の海上保安学校・海上保安大学校学生採用試験を実施します。

人材確保は海上保安庁にとって喫緊の課題となっておりますので、広く周知させていただきます。

また、今年度より海上保安学校学生採用試験の受験資格の受験可能期間が大幅に拡大されました。

	海上保安大学校（広島県呉市）	海上保安学校（京都府舞鶴市）
受付期間	令和2年8月27日(木)～ 令和2年9月7日(月) (インターネット申込)	令和2年7月21日(火)～ 令和2年7月30日(木) (インターネット申込)
採用 予定者数	約60名	<ul style="list-style-type: none"> 船舶運航システム課程 約280名 航空課程 約25名 情報システム課程 約60名 管制課程 約20名 海洋科学課程 約15名
修業期間	本科4年・専攻科6ヶ月	1年（情報システム課程・管制課程は2年）
受験資格	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月1日現在、高等学校又は中等教育学校を卒業した日から2年を経過していない者 令和3年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者 	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年4月1日現在、高等学校又は中等教育学校を卒業した日から12年を経過していない者 令和3年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
第1次試験	令和2年10月31日(土)、令和2年11月1日(日)	令和2年9月27日(日)
1次合格発表	令和2年12月11日(金)	令和2年10月14日(水)
第2次試験	令和2年12月18日(金)	令和2年10月20日(火)～令和2年10月29日(木)
最終合格発表	令和3年1月21日(木)	令和2年11月25日(水) (航空課程のみ2次合格者発表)
第3次試験 (航空のみ)	-	令和2年12月5日(土)～令和2年12月15日(火)
最終合格発表 (航空のみ)	-	令和3年1月21日(木)
採用予定日	令和3年4月	令和3年4月

＜参考＞ 海上保安大学校・学校学生に採用されて入学すると・・・

- ・両校とも、全寮制で入学金、授業料は一切不要。学生生活に必要な制服や寝具等は貸与されます（食費、身の回り品等は自己負担）。
- ・入学と同時に国家公務員としての身分を与えられ、毎月約15万円の給与や期末手当等が支給されます。
- ・国土交通省共済組合員としての社会保障を受けることができます。

問合せ先
第四管区海上保安本部
総務部人事課長 吉田 隆宏
052-661-1611 (内線 2130)



令和2年6月26日
第四管区海上保安本部

『あなたの資格、海上保安庁で役立ててみませんか！』 ～令和2年度（第1回）海上保安庁船艇職員・ 無線従事者・航空機職員採用試験の実施について～

海上保安庁では、船艇（航海・機関）、無線通信や航空機の有資格者を対象とした採用試験を以下のとおり実施します。

本試験に合格し採用になると、海上保安学校門司分校（北九州市）において海上保安官として必要な研修を約6ヶ月間受けた後、各海上保安部署等において勤務することとなります。

試験の詳細な内容は海上保安庁のホームページをご確認ください。

1 試験日程等

- (1) 受付期間 令和2年6月8日（月）～令和2年7月8日（水）
- (2) 試験日等 第1次試験（教養試験、作文試験） 令和2年7月26日（日）
第2次試験（人物試験、身体検査等） 令和2年8月17日（月）
～9月2日（水）
実技試験（航空機職員（飛行）のみ） 令和2年9月17日（木）、
18日（金）

※各試験日は、新型コロナウイルス感染防止の観点から変更する場合がありますので、海上保安庁ホームページでご確認ください。

- (3) 採用予定日 ①令和3年1月1日（金）
②令和4年1月1日（土）
高等専門学校在学中に試験区分「航海」及び「機関」を受験し、かつ、令和3年9月30日までに卒業又は修了する者。
※高等専門学校とは、全国の高等専門学校及び商船高等学校をいう。

2 試験区分・受験資格等

※詳細の受験資格を募集要項にて必ずご確認ください。

◇船艇職員

試験区分	採用予定数	受験資格
航海	約5名	電子海図情報表示装置の能力限定が解除された有効な五級海技士(航海)以上の海技免状を有する者（取得見込を含む）
機関	約5名	有効な五級海技士(機関)以上の海技免状を有する者（取得見込を含む）

◇無線従事者

通信・技術	約 10 名	高卒相当の学歴と第一級又は第二級総合無線通信士、第一級、第二級又は第三級海上無線通信士、第一級又は第二級陸上無線技術士のいずれかの免許を有する者（取得見込を含む）
-------	--------	---

◇航空機職員

飛行	約 5 名	高卒相当の学歴と飛行機又は回転翼航空機の事業用操縦士の資格以上の技能証明書及び操縦等可能期間内の技能証明書（特定操縦技能審査/確認）及び有効な第一種航空身体検査証明及び航空無線通信士の免許を有する者
整備	約 10 名	高卒相当の学歴と飛行機又は回転翼航空機の航空整備士又は航空運航整備士の技能証明を有する者（取得見込を含む）
航空通信	約 5 名	高卒相当の学歴と航空無線通信士又は第一級、第二級総合無線通信士のいずれかの免許を有する者（取得見込を含む）

3 その他

この試験に関する詳細は、海上保安庁ホームページ（<https://www.kaiho.mlit.go.jp/ope/saiyou/mojisaiyou-index.html>）又は第四管区海上保安本部総務部人事課（電話：052-661-1611）（担当：岩本、山本）までお問い合わせ下さい。

【問い合わせ先】

総務部総務課

広報・地域連携室長 生田保隆

電話 052-661-1611（内線 2111）



平成 30 年 11 月 22 日
第四管区海上保安本部

広報映像等の迅速な提供について
～オンラインストレージサービスの利用開始～

第四管区海上保安本部では、外部サーバーを使用した迅速な広報映像・画像等の提供を開始します。

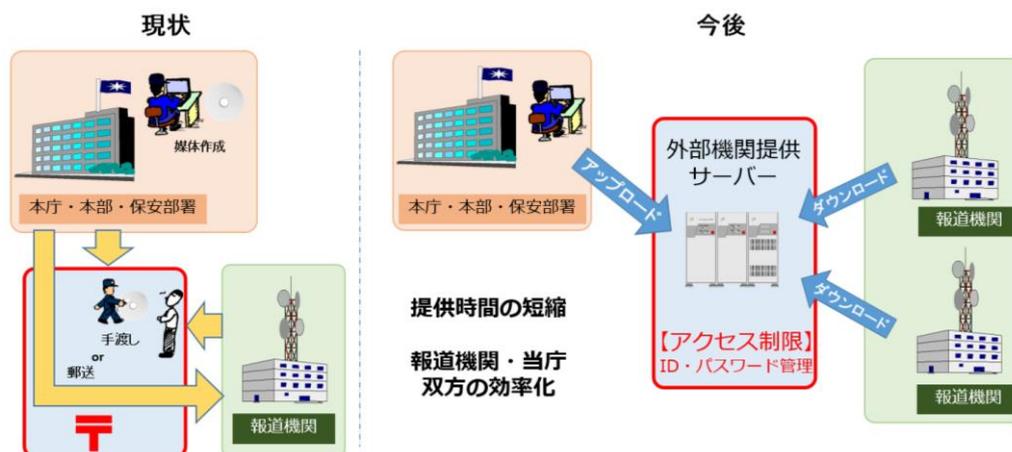
1 概要

第四管区海上保安本部が実施する広報について、現場の状況等を記録した映像及び画像について、DVDにて提供をしていたところ、報道機関に対し映像等を早期提供し、当本部が実施する業務への理解を得る等の観点から、外部サーバーを使用して迅速かつ正確な情報提供を開始します。

2 映像提供の流れ

外部サーバーを利用した広報映像等の提供については、本庁、各管区海上保安本部、海上保安部署等において実施いたします。詳細については「オンラインストレージサービスの利用に係る規約」をご確認下さい。

映像提供の流れ(イメージ図)



【運用開始】平成 30 年 11 月 30 日から

【提供資料】第四管区海上保安本部からの広報案件等に係る映像のうち、提供が可能なもの



平成 30 年 11 月 22 日

第四管区海上保安本部

オンラインストレージサービスの利用に係る規約

1 目的

第四管区海上保安本部が実施する広報について、これまでは書面による広報文に加えて、現場の状況等を記録した提供可能な映像及び画像をDVDにて提供を行っていたところ、海上保安庁が契約締結した通信事業者が運用するデータ管理・共有サーバー（以下、「外部サーバー」という。）を利用して、報道機関に対し早期提供することにより、迅速かつ正確な情報提供を行うもの

2 運用開始日

平成 30 年 11 月 30 日から

3 利用組織

本庁、各海上保安本部、各海上保安部署等

4 提供資料

第四管区海上保安本部からの広報案件等に係る映像等のうち、提供が可能なもの

5 提供の流れ

- (1) 提供映像等の編集・作成 [第四管区海上保安本部]
- (2) 外部サーバーへ提供映像等をアップロード [第四管区海上保安本部]
- (3) 事前調査(※)した宛先に対し、外部サーバーURL及びパスワードをメールもしくはFAXにて通知 [第四管区海上保安本部]
- (4) 外部サーバーにアクセスのうえ、パスワードを入力し提供映像等を取得 [報道機関]

(※)事前調査について

外部サーバー利用に伴う通知宛先について、アドレスまたはFAX番号の登録を行う場合には、別添資料の提出をお願いいたします。

より迅速に映像等を提供するため、映像等提供通知宛先について、別添のとおり事前調査をさせていただきます。

普段、当本部が発表する広報文の宛先と重複するかもしれませんが、本サービス利用希望の調査も兼ねておりますので、希望される場合は必ず別添資料の提出をお願い



いたします。

6 その他

- (1) 報道機関で新たにご用意いただく設備等や、利用料金(データ通信料を除く)が発生するものはございません。
- (2) **第四管区海上保安本部**から通知される外部サーバーURL及びパスワードについては、提供毎に変更しますので、通知されるメールもしくはFAXの確認をお願いいたします。
- (3) 外部サーバーへ掲載する提供映像等については、原則、掲載期間は24時間として、運用させていただきます。
- (4) 事前調査について、締め切りを**平成 30 年 11 月 29 日(木)午後5時 50 分まで**とさせていただきます。



別添



平成 30 年 11 月 22 日
第四管区海上保安本部

オンラインストレージサービスの利用に伴う宛先の調査について

平成 30 年 11 月 22 日にお知らせした「オンラインストレージサービスの利用に係る規約」5項(3)の事前調査について、必要事項をご記入の上、メールまたはFAXにてご回答いただきますよう、よろしくお願いいたします。

記

報道機関名 _____

ご担当者 _____

電話番号 _____

メールアドレス _____

FAX番号 _____

上記内容を記載の上、**平成 30 年 11 月 29 日(木)午後5時 50 分までに**、下記連絡先(どちらか一方)までご回答をお願いいたします。

メールアドレス:jcg4soumu1-5u5s@mlit.go.jp

FAX番号:052-661-1620

